



# エネルギー理工学研究所

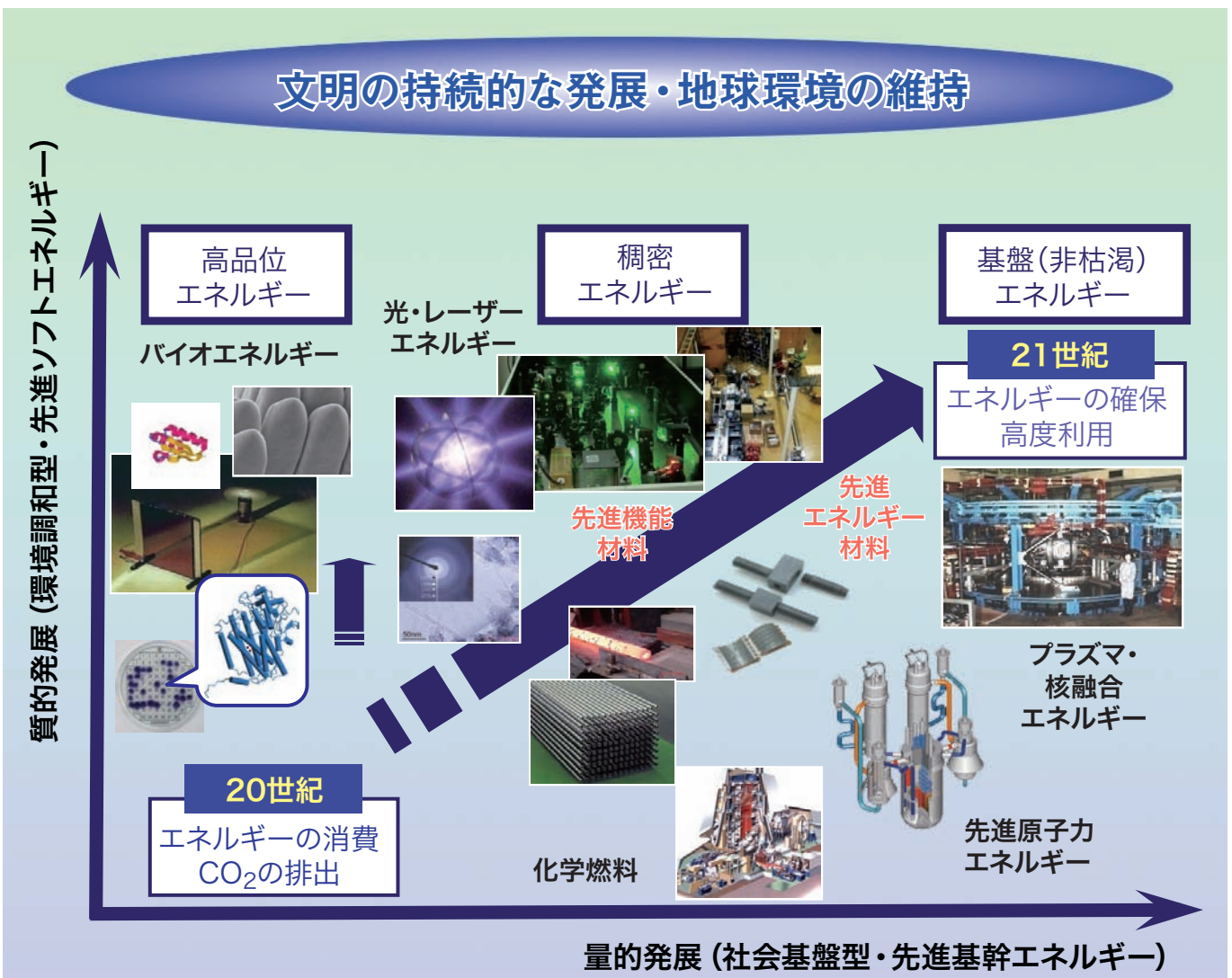
Institute of Advanced Energy

## 未来のエネルギーを考える

京都大学エネルギー理工学研究所は、「エネルギーの生成、変換、利用の高度化」を目的として、平成8年5月11日、前身の原子エネルギー研究所の一部とヘリオトロン核融合研究センターの一部が合併し、3研究部門（12研究分野）1附属センターという構成でスタートしました。詳細は<http://www.iae.kyoto-u.ac.jp>を参照ください。

人類の生存基盤の確保にとって最大の課題である「エネルギー資源の永続的な確保」にはエネルギーシステムの高性能化や新規エネルギー源の開拓、エネルギー資源の有効利用システムの実現が欠かせません。われわれは、エネルギーの質的发展（環境調和型・先進ソフトエネルギー）と量的发展（社会基盤型・先進基幹エネルギー）を軸として理学・工学の幅広い分野からの人的資源・研究資源を集結・融合させることにより新しい総合的な「先進エネルギー理工学」の構築を目指し日々研究を行っております。

キャンパス公開では、未来のエネルギー問題の解決につながる「先進エネルギー理工学」研究の最先端の成果を総合展示や公開ラボを通じ、わかりやすく説明いたします。



# 公開ラボ

## ◆知って得する、ふしぎなプラズマの ミラクルワールド

10月24・25日(土・日)  
10:30~16:30



先進核融合実験装置Heliotron Jの見学をしていただきながら、ふしぎなプラズマ実験をデモンストレーションします。⑮

## ◆加速器でつくるレーザー： 自由電子レーザー(KU-FEL)

10月24・25日(土・日)  
10:30~16:30

電子ビームを使ってレーザー光線を作る実験装置を見学します。目に見えない赤外線レーザーで先進エネルギー研究を行っています。⑯



## ◆DuET : 巨大ビーム砲でねらう3mmのターゲット

10月24日(土) 10:30~16:30

高エネルギービームで材料の性質を変える加速器装置、その圧倒的な存在感を体感しよう。⑰



## ◆IECF： 慣性静電閉じ込め核融合装置

10月24・25日(土・日)  
10:30~16:30



直径20cmの球形容器の真ん中に網目状の球形電極を配置しただけの単純な装置で核融合反応が起きる、意外な事実を紹介します。⑨

## ◆MUSTER： のぞいてみようナノの世界

10月24日(土) 10:30~16:30



百万分の1ミリの大きさを見分ける世界最先端技術に触れてみませんか。⑱

# 総合展示 (宇治おうばくプラザ) ①

原子力エネルギー・核融合エネルギー・太陽電池・光合成・生体エネルギーなどの先進エネルギー研究の最先端の成果をスタッフおよび大学院生がわかりやすく紹介します。質問も大歓迎!